

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、抗がん剤による副作用を早期に診断・発見できるスマートフォン・タブレット用アプリケーションを用いて調査します。調査は患者さんの受診やお体に影響のない形で実施いたしますので、ご安心ください。

この研究の内容を詳しく知りたい方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

IT 技術を活用したがん治療関連副作用早期発見ツールの開発と運用

【研究機関】

愛媛大学医学部附属病院 外来化学療法室

愛媛大学医学部附属病院 薬剤部

【研究責任者】

薬師神芳洋(腫瘍センター・緩和ケアセンター センター長兼教授)

【目的】

本調査の目的は、がんの治療薬である免疫チェックポイント阻害剤を投与した後に副作用(免疫関連有害事象)が起きているかどうか自己診断していただき、その診断結果をデータとして集め、解析します。この調査により、今後、免疫チェックポイント阻害剤を投与する方において、出現時期などが予測しづらい副作用の早期発見ならびに重症化を防ぐことができると考えています。

【研究の方法】

自己診断したデータを集積し、解析します。

【倫理面での配慮】

本調査は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会にて審査し、病院長の承認を得て行います。そして、調査目的・方法については各ホームページに掲載することで倫理面での配慮を行っています。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名

化します。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者>

愛媛大学医学部附属病院臨床腫瘍センター・緩和ケアセンター 薬師神芳洋

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院臨床腫瘍センター・緩和ケアセンター 薬師神芳洋

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5969